I I O T

検証・認証

ワンストップサービス提供

昨夏以降発売のアンドロイド全機種そろえる テスト環境整備

IIOTは、急速に拡大するIIOT（Internet Of Things）は巨大な市場を形成する方向にある。その成長を支えるには、認証・検証分野が非常に重要な位置づけを担う」と語る。

県が実施する「モバイル機器等検証拠点促進事業」を受けて、一般社団法人として12種の機器をIIOT内にそろえ、テスト環境を整備。テストツールや自動テスト、プロセスなどのテスト仕様の作成と、沖縄県内に加えアジアの人材を育成・活用していく考えだ。

県から受ける初年度の事業費は約3億5千万円。事業規模は、1年目で70人の雇用と4・2億円の売上げを見込み、5年目は500人で30億円が目標だ。

12年10月24日に沖縄で事業説明会を開催したのを皮切りに、県内外で関連イベントとセミナーを実施している。3月1日は沖縄産業支援センターで講演会を開催する予定。

本社とテスティングセンターは、うるま市の沖縄IT津梁パーク内に、那覇事務所は沖縄産業支援センター内にそれぞれ構える。13年度から津梁パーク内で供用開始予定の「モバイル機器等検証施設（仮称）」は、IIOTが中心となって企業集積を図る。

まずは、国内のITや家電メーカーなどからの受注を目指すが、将来的にはアジアをはじめとする世界規模のビジネス展開もにらむ。

全日本空輸とヤマト運輸は、国内で唯一の国際物流特区を活用し、09年から那覇空港を基点に国内外へ荷物を即日届けられる「沖縄物流ハブ」を展開している。「沖縄県はアジアに近い立地を生かし、国際物流特区と連携し、本土とアジアを結ぶ〝トライアングル検証センター〟の構築を目指す」と語る。

半田　理事長

IIOTは、急速に拡大する多種多様な情報通信機器の検証・認証技術を確立し、検証・認証に関するワンストップサービスを全世界に向けて提供していくことを目指す。

半田祐一理事長（YRP－IOT社長）は「日本の製造業界を中心とするものづくりが非常に厳しい局面に立たされている中、情報家電、携帯などのモバイル分野を中心とした

年7月9日に設立。IT機器の相互互換性検証専業のGIOTとYRP－IOT、キャッツが特別会員として参画しており県内外の企業が正会員として参加を検討している。

12年夏以降に発売されたアンドロイド全機種をはじめ、家電機器、Wi－Fi、ブルートゥース、DLNAなど各

最先端検証技術を通して
ICT企業の発展に貢献します

IIOT

International Internet of Things
International Interoperability Testing

一般社団法人IIOT　http://www.iiot.or.jp

【那覇事務所】
〒901-0152 沖縄県那覇市小禄1831-1 沖縄産業支援センター416
Tel:098-987-4172 / Fax:098-987-4173

出典『平成25年1月31日付 電波新聞』